

令和元年度 住民懇談会 議事録（緒川地区）



開催日：令和元年 12月 16日（月） 午後 7時～9時

会 場：緒川コミュニティセンター

出席者：町長、副町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、教育部長、建設部技監、広報情報課長、防災交通課長、都市計画課長、事務局（広報統計係）

参加者：33名

【開会】

（町長）

テーマの説明については別添のとおり

<意見交換>

【子育てについて】

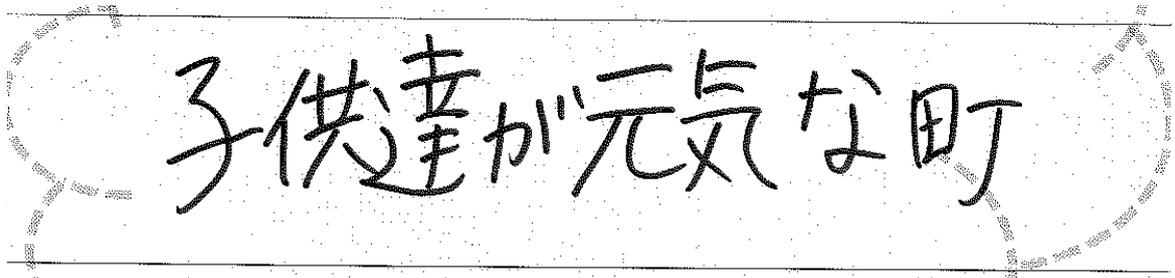
● 児童館やラランがあって、
赤ちゃんから手厚い。

各小学校区に
児童館がある！！

（参加者）

東浦町は、各地区に児童館があるところがいいと思います。実家がある刈谷市には、各地区に児童館がありません。東浦町は、町外から児童館に遊びに来て寛容

なところもいいと思います。



(参加者)

私は逆に、東浦町の子育て施策の手薄さに驚きました。東浦町は、待機児童がゼロであり、そこがいいところだと思います。しかし、働いているお母さんも働いていないお母さんも保育園に預け入れることができるため、家庭によって、お迎えの時間がばらばらとなり、子どもにはさみしい思いをさせてしまいました。

また、最近、子どもたちに元気がないように感じます。公園や外で遊ぶ姿を目にすることがありません。子供が元気に遊ぶ姿のあるまちがいいまちだと思います。

(町長)

子育て支援センター（うららん）は、町外の利用率が4割で、人気のある施設です。

東浦町は、幼稚園のない町でしたので、保育の希望者は、できるだけ受け入れるということを継続していきたいと思っています。最近では、0、1、2歳の預け入れの要望が多く、保育士が不足しています。

(健康福祉部長)

東浦町は、私的契約時についても受け入れをしています。保育園は、本来、働いているお母さんのためのものですが、東浦町は手厚い受け入れを行ってきました。

地域の中で、子どもたちが同じ環境で育つことで、学校期に入ってから同じ友達と歳を重ねていくことができます。子どもが少ない現代であっても、こういった環境は重要であると考えています。

東浦町は、「子育て」という親の目線から、子どもの目線に立った、子どもが自立していく「子育て」の環境づくりに重点を置いています。

元気な子供たちに影響を受けて地域が元気になり、また、地域の中で子供たちが自立していくことができるような行政運営を行っていきたいです。

(町長)

最近では、子どもの元気がないという話がありました。生路地区の懇談会では、砂

場をつくってほしいという話がありました。滑り台やブランコは、形式化した遊びしかないですが、砂場は遊び手の相違工夫でさまざまな遊び方ができるので、よい意見だと思いました。

【役場の建て替え・防災の共助・空き家について】

阿久比町役場の
新築費用の財源？
の防災における共助
について

(参加者)

阿久比町では、役場庁舎の建て替えを行いました。同じ町としてどのように財源を確保したのでしょうか。ふるさと納税を、役場建て替えの財源にすることは可能でしょうか。また、東浦町のふるさと納税は近隣市町と比較してどの程度の規模なのでしょうか。

防災の共助を行うには、事前に要支援者を把握する必要があると思います。町としてどの程度把握されていますか。また、空き家についても、町でどの程度把握しているのでしょうか。

(町長)

阿久比町は、庁舎に50億ぐらいかかっています。建て替えのために貯金をしていました。東浦町は、貯金があまりなかったため、現在、建て替え用の基金を作っています。庁舎の建て替え時期がくるまでは貯金をしていきます。

ふるさと納税については、現在、2億ぐらいですが、一時期3億を超えたこともあり、県内3位にまでなりました。知多半島では1位でしたが、今は大府市に抜かされている状況です。東浦町は「東浦町カリモク」で寄附を集めていましたが、大府市も「エアウィーブ」で寄附を集めています。

(防災交通課長)

阪神淡路大震災の際にも、命を一番救ったのは共助だと言われていますが、まずは、自分の命を守る「自助」に力をいれていただきたいと思います。ご自宅付近の危険個所を把握していただいたり、災害時に行う行動を平時から決めておいて

いただきたいと思います。その手助けとなるよう、町として情報発信をしていきたいと思っています。

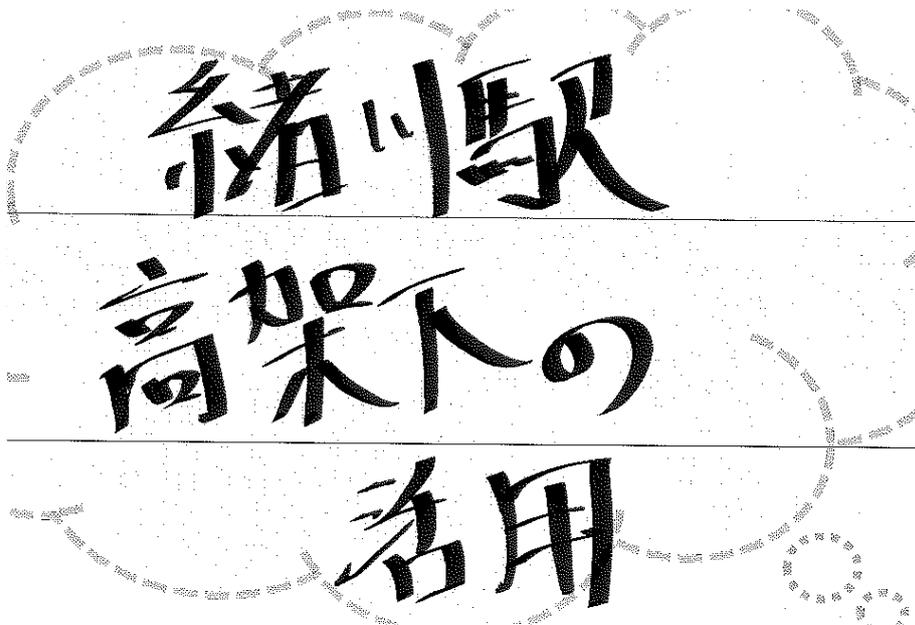
また、「共助」として、普段からの隣近所のお付き合いを大切にしていきたいと思っています。今後も、町として啓発を行ってまいります。

(都市計画課長)

町内の空き家についてはコミュニティにご協力をいただいて把握しているところです。管理が行き届いていない空き家については、町からアプローチをし、管理のお願いをしているところです。

空き家の利活用については、使わせていただける空き家探しに努めているところではありますが、地元の若い方に低予算でお貸しできるような空き家がありましたら、教えていただきたいと思います。

【緒川駅の高架下の活用について】



(参加者)

イオンモールに出かけた際、緒川駅の高架下のスペースが気になります。刈谷市では高架下が駐車場になっていたり、都会ではお店が入っていたりするのを目にします。キッチンカーやテントの居酒屋を招いてはどうでしょうか。

高架を隔てて、イオン側は新しい街並み、反対側は古い街並みを見ることができるといい環境だと思います。

(町長)

今度、緒川駅にエレベーターができるため、そのタイミングでにぎわいを作ることができたらと思っています。JRから土地を借りるのが難しいかもしれませんが、

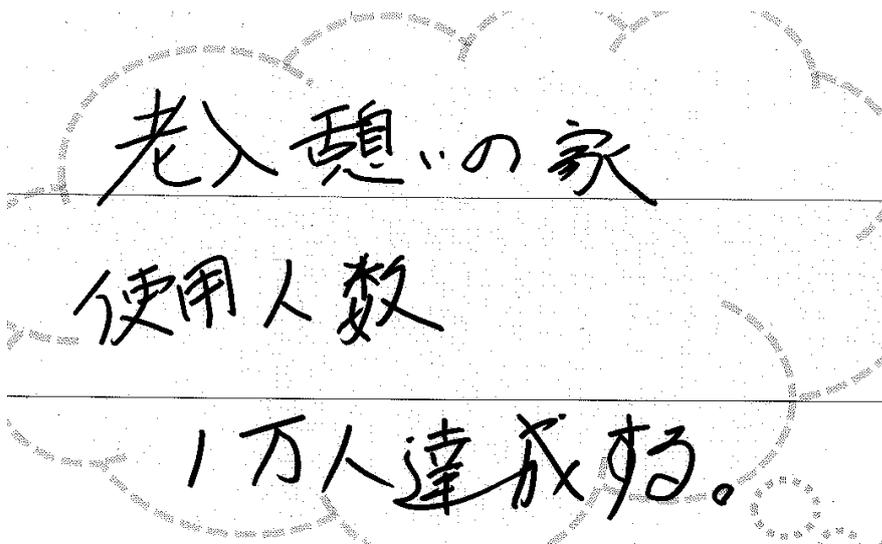
皆さんと一緒にお願いに行つて、駅を活かすために、どれだけにぎわいを作れるのか、試しにやってみるのも面白いと思います。

他にも、例えば、町のものではないのですが、柳原医院さんの下の吹き抜けの所でも、ステージイベントができれば面白いと思いませんか。皆さんとアイデアを出し合つて、一緒に何か楽しいことができればと思います。実現に向けて頑張っていきたいと思います。

先日、於大公園の使い方を考えるワークショップの中で出た意見を実現し、於大公園へ泊まろうというイベントを行いました。11月の寒い中、たくさんの応募があり、50張り近くのテントが張られ、バーベキューやキャンプファイヤー、野外フェスティバルが行われました。参加された方々は、マナーも素晴らしく、テントが撤去された後はごみも落ちていませんでした。

公園にも、様々なアイデアを持ち込むことで、多様な使い方ができるのだと発見しました。皆さんのアイデアを実現させることは、大切なことだと思いました。

【老人憩の家について】



(参加者)

緒川老人憩の家は、昨年8,400名ほどの方に使用していただきました。老人憩の家を、子どもから一般の方までたくさんの方にご利用していただき、楽しんでいただきたいというのが私の願いです。もう少しで1万人を達成するので、皆さんぜひ老人クラブにご参加いただき、私と同じようにやりがいを感じてもらいたいです。

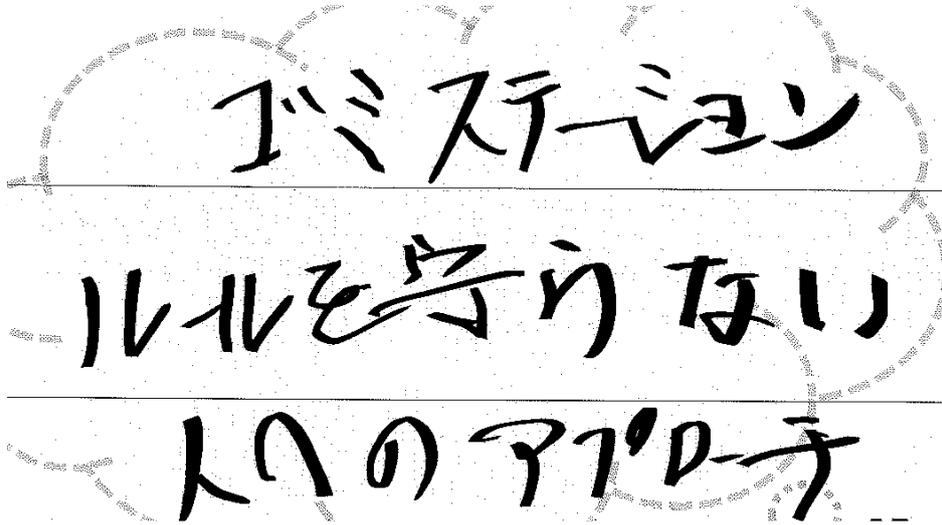
【緒川駅について】

(参加者)

緒川駅は無人駅であるため、不審者に声を掛けられ怖い思いをしている方がいま

す。先ほど、高架下の活用という話が出ましたが、駅前がにぎやかになると、怖い思いをすることがなくなるかなと思いを期待を持ちました。

【ゴミステーションについて】



(参加者)

ゴミステーションのパトロールを行っているのですが、ごみ出しのルールを守っていない方が見受けられます。この現状を町でも把握してほしいと思います。

(町長)

どうしたらみんながルールを守ってくれるのか考えていきたいのですが、柔らかい方法はないでしょうか。緒川地区では、犬の糞に旗を立てる活動をしていましたが、よいアイデアだと思いました。

(参加者)

先日、「ごみ出しルールを守りましょう」というストップマークを作成し、ごみ出しルールを守っていないごみ袋に貼ってみました。視覚に訴えることで効果があるかどうか、見守っているところです。

ごみ処理手数料有料化を行う前は説明会がありましたが、有料化後も説明会を行ってもよいのかなと思いました。

また、ごみ出しのルールを守っていない方を見かけたことはありますが、その場で注意することは躊躇してしまいます。皆さんにごみ出しルールを守っていただくよい方法は、いまだに思いつきません。

(参加者)

森岡地区では、ごみは前日に出していません。緒川地区では、前日にごみを出し

ている方が見受けられます。森岡地区ではルールが守られているのに、なぜ緒川地区ではルールが守れないのでしょうか。

(参加者)

ごみステーションという形があるので、その場所が汚くなるのではないのでしょうか。大府市では、組の賛同を得たうえで、班長さんの家の前がごみ捨て場になるそうです。半田市では、ごみステーションがなく、ごみに掛けるネットのみ置いてあるそうです。また、刈谷市では、家ごとにごみを回収しているそうです。

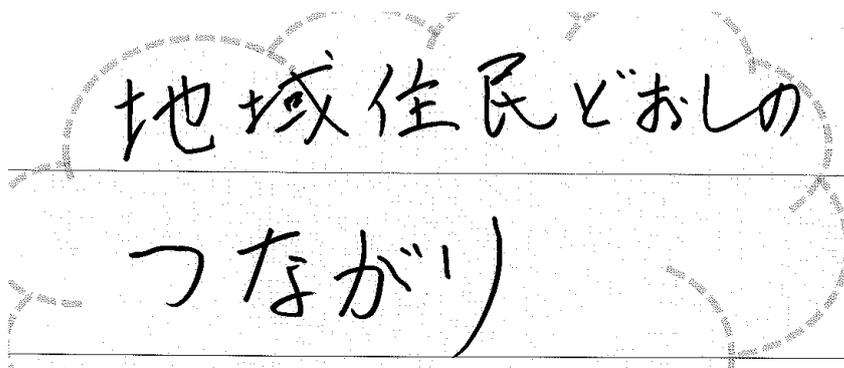
(生活経済部長)

ごみ出しについては、各個人のマナーによるところが多く、ストップマークについて、効果がありましたら、参考にさせていただきたいと思います。

ごみステーションの設置場所については、嫌われものの施設ということで、難しいところがあります。地元で場所の提供等がありましたら、ご相談いただきたいと思います。

なお、不法に出されるごみにつきまして、ごみの内容物から個人を特定できる場合は、町からご連絡をさせていただいているところです。

【地域住民どうしのつながりについて】



(参加者)

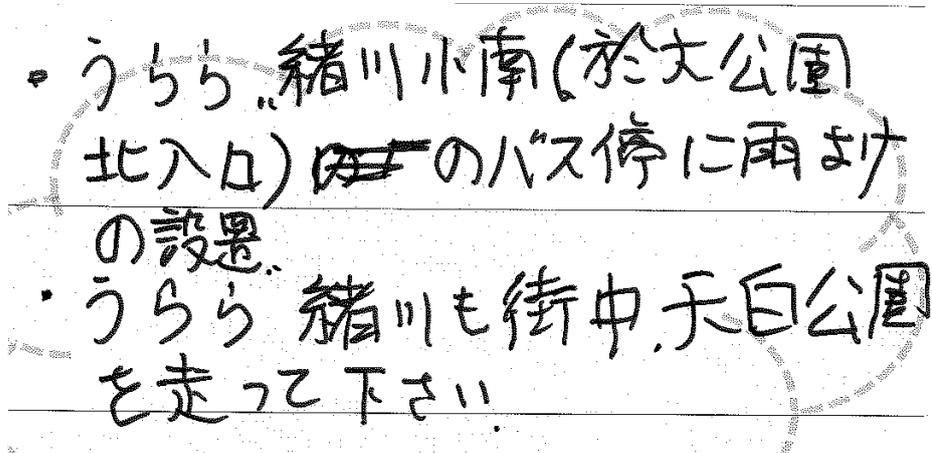
区民体育祭等の行事を通して、大変なこともありましたが、地域住民どうしのつながりを実感することができました。

(町長)

地域のつながりは、大切にしてほしいです。今後、高齢者の方も増えていきますが、お元気な方も多く支える側に回ることもできます。お互いに、支えたり、支えられたりしながら、顔の見える関係を維持していけるかが重要だと思っています。

それがまちの居心地のよさや、強さになると思います。

【町運行バス「う・ら・ら」の緒川地区での走行について】



(参加者)

緒川小学校の生徒が「う・ら・ら」を使って通学していますが、雨よけがないため濡れてしまってかわいそうです。

また、天白にお住いの高齢者は、歩いて近くのスーパーまで通っているので、緒川の町中も「う・ら・ら」が走るといいなと思っています。

(防災交通課長)

緒川小南バス停の待ち合いは、於大公園の一角となっているため、雨よけについて公園管理者と協議しようと思います。

緒川の町中における「う・ら・ら」の運行については、公共バスだけでなく、カーシェアリングやデマンド交通などの新しい試みを検討していきたいと思っています。

(町長)

雨よけは、バス停のスペースが狭く、道幅も広くないので、少し軒先をお貸しいただける気遣いがあるといいなと思っています。こちらからのお願いでもあります。

【道路について】

県道東浦・八幡線の歩道
歩道も車道と衝突ときもたい

(参加者)

県道東浦・八幡線への歩道の設置はいつ頃になるのでしょうか。子どもが徒歩で通行するには危険すぎます。

(建設部長)

県道東浦・八幡線については、通学路となっている区間があるにもかかわらず、交通量・大型車の通行も増え、危険であることは承知しています。猪伏釜の交差点から株式会社愛商前までは用地の協力が得られたため、工事を進めています。

また、株式会社愛商から相生交差点までも、順次用地の交渉をしているところです。まだ全路線で用地の買収ができていないので、順次進めてまいります。

効果的に工事を進めるためにも、区間を区切って集中的に用地交渉を進めていく予定です。

私は東高組の県道23号線に自動車の修理工場をしていますが、最近役場から知多半島道路東浦ICへの道路が大型車も多いため、歩道の整備を促していたが、学生の自転車通学の方車は大変危険だと思っております。

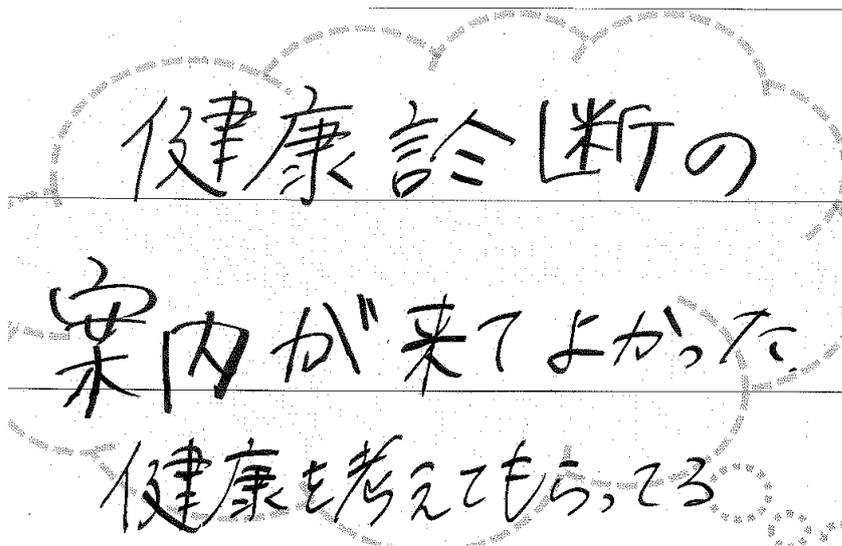
(参加者)

知多半島道路 IC にトラックターミナルが増加しています。町が誘致を行っているのでしょうか。増加することで、大型車両の通行が多くなるため、危険が伴うと思います。

(建設部長)

町として、トラックターミナルの誘致は推進しておりません。道路事情で、IC 付

近には、今後も企業が進出される方増加することが見込まれます。それとは別に、この周辺では、現在の県道のほかに、バイパス建設の計画もありますので、交通量が増えれば今後、県にバイパス建設計画の事業化を進めるよう、要望していく必要があると思います。まずは、通学路の安全を確保できるよう、県道への歩道設置を進めてまいります。（※バイパス建設計画：都市計画道路 知多刈谷線整備。）



（緒川区長）

本日は、たくさんの方にお集まりいただき、皆さんのお考えや町の考えを知ることができ、勉強になりました。

パスポート申請について、半田市でパスポートを取得することができなくなったようですが、詳しい案内がなく困りました。

また、緒川駅前の落ち葉については、誰も片付ける様子がなく、見苦しいです。

最後に、健康診断について、保健センターから通知が来てありがたいと思いました。

（広報情報課長）

パスポートについては、他の住民の皆さんからの声もいただいております、広報紙の「教えて神谷町長」のコーナーで、経費や立地等から判断し、県の事務の移譲を受けないこととした旨を紹介させていただきました。

（参加者）

他市町では、戸籍謄本等の入手がコンビニで可能ですが、東浦町ではできないのでしょうか。

(広報情報課長)

東浦町では、行政サービスコーナーにて、年末年始を除いて夜の7時半までいつでも証明書等が取得可能です。他の市町村ではないレベルでのサービスを提供しています。

コンビニで戸籍等を入手するには、システム改修に何千万円の経費がかかることと、また、マイナンバーカードの普及も進んでいないことから、状況を見て判断していきます。

(参加者)

コンビニで取得可能になれば、日本全国どこからでも取得できるメリットがあります。

(広報情報課長)

承知はしておりますが、費用面からすぐにシステム改修はできない状況です。

【閉会】